

子宮頸がんゼロプロジェクト

子宮頸がん征圧をめざす  
専門家会議

Annual Report 2011

CONTENTS

---

2011年度 総括	1
2011年度 活動一覧	2
国、自治体、議員、健康指導者、メディアへの情報提供	3
啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供	5
若年女性への啓発・情報提供	7
シンポジウムなどによる一般市民への情報提供	9

## 2011年度 総括

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(以下当会)は2008年11月設立以来、以下の2つを目標に掲げ活動を展開してきた。

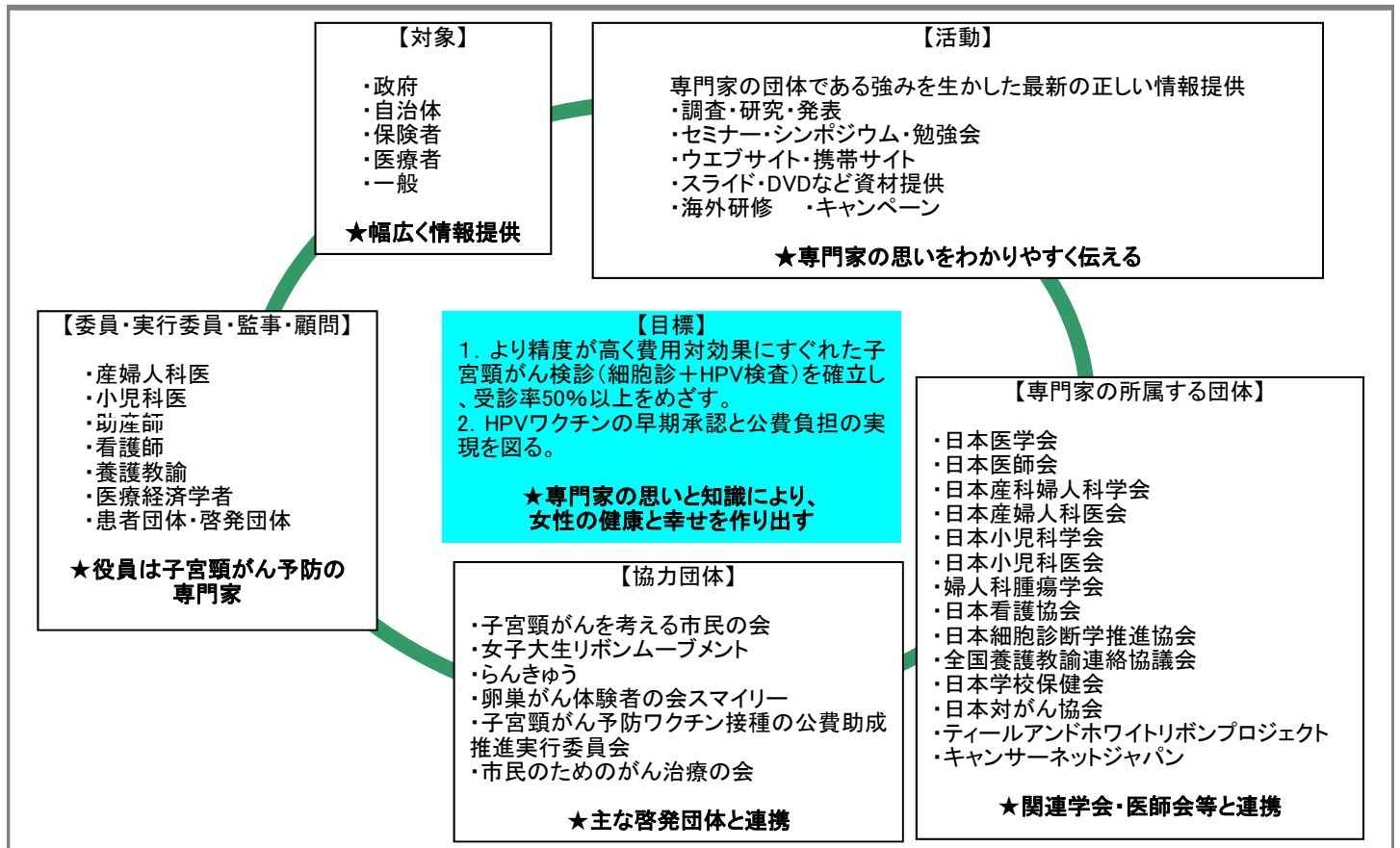
1. より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)を確立し、子宮頸がん検診の受診率50%以上をめざす。
2. HPVワクチンの早期承認と公費負担の実現を図る。

2009年はHPV予防ワクチンの正式承認を獲得し、2010年は検診受診率向上、ワクチン公費負担の実現に向けて、他の啓発団体と連携しながら政府への提言を活発におこなった。

ワクチンの公費負担が実現したが、接種を提供する側、受ける側ともにワクチンについての理解はまだ十分とはいえない。2011年はセミナーやウェブ、広告などを通して、議員、自治体保健担当者、医療関係者や健康指導者、保護者向けの正しい情報提供につとめた。また、継続審議になっている子宮頸がん予防法案の実現に向けての提言や、一般市民の啓発、企業との連携キャンペーンに注力。検診クーポンやワクチン接種についての4回目の自治体アンケートも実施した。

当会の認知が高まり、メディアからの取材や問い合わせが増えた。社会を動かす大きな力になってきている。

### 【子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 概念図】



## 2011年度 活動一覧 ■は活動委員

2月	HPV検査併用検診教育用DVD監修	細胞診とHPV検査併用検診についてのDVDを監修。会議主催のセミナーなどで希望者にも配布。 ■実行委員長:今野 良、岩成 治
2月3日	プロフェッショナルセミナー「子宮頸がん予防検診—政策決定のための新しい必須知識	より精度が高く、費用対効果に優れた“子宮頸がん予防検診(細胞診+HPV検査)”の確立、受診率アップを目的に開催。議員、自治体保健福祉担当者、報道関係者など約100名が参加。 ■議長:野田 起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木 光明、委員:平井 康夫、岩成 治、小西 宏
2月18日	国際セミナー「子宮頸がん予防の新展開 検診とワクチンの最新情報～子宮頸がん予防 次に日本ですべきことは何か?～」	2011年4月から99%の自治体で子宮頸がん予防のためのHPVワクチンが思春期女子に無料で接種される。広く国民にHPVワクチンや子宮頸がん検診の意義を理解してもらうためのさらなる教育・啓発の必要と、今後の政策課題がある。そこで、英・豪で活躍する専門家を招き、国際セミナーを開催した。 ■実行委員長:今野 良、委員:岩成 治
2月25日	養護教諭向けセミナー	養護教諭の全国大会で、養護教諭の方々に向けて講演を行った。 ■実行委員長:今野 良
2月～	指導者用パンフレット作成・配布	正しい知識をコンパクトにまとめた「指導者用パンフレット」を作成し、養護教諭向けセミナーで配布。ウェブでもダウンロードできる。 ■実行委員長:今野 良
3月	医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供	子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に講演などに使用してもらう。 ■実行委員長:今野 良、委員:平井康夫
4月	子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーンサイトオープン	若年女性(主に10代後半～30代)を対象に、企業・学校等とのタイアップのもと、検診・ワクチン接種推進活動を推進するプロジェクトのサイトをオープン。 ■プロジェクトリーダー/実行委員:鈴木光明、プロジェクトメンバー/実行委員長:今野 良、実行委員:今村定臣、吉川裕之、委員:小田瑞恵、宮城悦子
4月・5月	幼稚園での「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」	全国の私立幼稚園などにて、母の日に園児から大好きなお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。12万枚を配布した。
5月8日～11日	EUROGIN2011&2011 WACC Forum 参加・取材ツアー	昨年に続き、世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACCのフォーラム(リスボンで開催)に、メディア関係者、細胞検査士、助産師、主婦、大学生ら9名を伴い参加。会議の活動も発表。 ■実行委員長:今野 良、委員:Sharon Hanley、小西 宏
6月15日	「EUROGIN 2011&2011 WACC Forum」報告会	EUROGINとWACCフォーラムの報告会を開催。議員、自治体担当者、啓発団体、メディアなど約70名が参加。 ■議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、監事:稲葉 憲之、委員:Sharon Hanley
8月	一般女性向けウェブサイト、携帯サイト保護者向けワクチンページなど追加	一般女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため、ウェブと携帯サイト「子宮頸がん講座」に、ワクチンについての詳しいページを追加した。 ■委員:小田瑞恵、相良洋子
8月・9月	新聞に子宮頸がん予防啓発のための全頁広告掲載(朝日、読売、日経、北海道、中日、西日本、中国、河北新報、静岡、四国)	子宮頸がんが予防できるがんであることを伝え、ワクチン接種と検診による予防を推奨する新聞全ページ広告を日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産婦人科医会とともに掲載。 ■議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:小西郁生、宇田川康博、委員:寺尾俊彦、宮城悦子
9月19日	養護教諭、健康指導者のための子宮頸がん予防とワクチンの最新知識を学ぶセミナー	保護者や生徒からの質問に正しく自信を持って答えられるように、養護教諭、保健主事の先生、保健師、助産師、看護師など健康指導者を対象に、子宮頸がん予防の最新知識をお伝えするセミナーを開催、約60名が参加した。 ■実行委員長:今野 良、委員:衛藤 隆、堀田美枝子
9月22日	子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーン説明会	企業を集め、子宮頸がん予防の必要性を伝えるセミナーを開催。35社の企業が参加した。 ■実行委員長:今野 良、プロジェクト委員:木村千里
9月	第4回自治体アンケート調査	22年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、予防HPVワクチン接種状況についての自治体アンケート調査(全国1750自治体)を実施した。 ■実行委員長:今野 良/実行委員:鈴木光明
10月15日	「ピンクリボンウオークin すみだ～東京スカイツリーを目指そう～」に参加	乳がん啓発のための「ピンクリボン ウォーク in すみだ」に参加。トークショーと出展をおこなった。 ■委員:宮崎 亮一郎、福田 護
10月2日	臨床細胞学会での活動発表	臨床細胞学会の女性のためのセッションにてアドボカシーを中心とした会の活動を紹介。 ■実行委員長:今野 良 委員:中山裕樹、宮城悦子
11月～	横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトタイアップキャンペーン	地域との共同活動として、横浜中心のプロジェクトとタイアップ。ポスター・メッセージを集め、広く一般に啓発をする活動を始動。 ■委員:宮城悦子、中山裕樹、上坊敏子、小西 宏
11月～	子宮頸がん予防活動奨励賞の実施	子宮頸がん予防で成果をあげる活動を行った団体・個人に対しての賞を創設。その活動を広く一般に公開する。 ■議長:野田起一郎、顧問、監事、実行委員長:今野 良
11月21日	「VPDから子どもたちを守るための予防接種方改訂に関する要望書」と記者会見	ワクチンの定期接種化などを求め、当会や「VPDを知って子どもを守ろう」の会をはじめとする9団体が共同で要望書を厚生労働省・小宮山洋子大臣宛に提出し、記者会見をおこなった。
12月14日	「子宮頸がん予防ワクチンの平成24年度以降公費助成接種に関する要望書」	子宮頸がん征圧に向けて活動を行っている団体が共同で、子宮頸がん予防ワクチン接種についての要望書を小宮山洋子厚生労働大臣宛に提出した。 ■実行委員長:今野 良
12月20日	「子宮頸がん予防法案を理解する」緊急議員セミナー	子宮頸がん予防・治療の専門家・実践者を集め、緊急議員セミナーを開催。 ■議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木 光明、吉川 裕之、委員:岩成 治、衛藤 隆
通年	ウェブサイトの充実	ウェブサイトのライブラリーを充実し、野田議長講演や世界の専門家のインタビュー記事も掲載。

## 国、自治体、議員、健康指導者、メディアへの情報提供

検診受診率向上、ワクチン接種促進に向けて、行政、議員、健康指導者、メディアに向けての情報提供を活発に実施。

### 1. 調査

#### 第4回 自治体アンケート調査

22年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、子宮頸がん予防HPVワクチン接種状況についての自治体アンケート調査を実施した。

- 調査時期:2011年9月 ■調査対象:全国1745自治体
- 回収状況:有効回収数 809自治体(回収率 46.4%)
- 活動委員…実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木光明

### 2. セミナー、啓発

#### プロフェッショナルセミナー「子宮頸がん予防検診—政策決定のための新しい必須知識」

より精度が高く、費用対効果に優れた「子宮頸がん予防検診(細胞診+HPV検査)」の確立ならびに受診率アップを目的に、プロフェッショナルセミナーを開催。議員、自治体保健福祉担当者、報道関係者など約100名が参加した。



- 日時:2011年2月3日(木) 3:30~6:30
- 会場:野村コンファレンスプラザ日本橋
- 活動委員…議長:野田 起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木 光明、委員:平井 康夫、岩成 治、小西 宏

#### インターナショナルセミナー「子宮頸がん予防の新展開 検診とワクチンの最新情報～子宮頸がん予防 次に日本ですべきことは何か?～」

2011年4月から99%の自治体で子宮頸がん予防のためのHPVワクチンが思春期女子に無料で接種される。広く国民にHPVワクチンや子宮頸がん検診の意義を理解してもらうためのさらなる教育・啓発の必要性と、今後の政策課題がある。そこで、英・豪で活躍する専門家を招き、インターナショナルセミナーを開催した。



- 日時:2011年2月18日(金) 14:00~18:00
- 会場:野村コンファレンスプラザ日本橋
- 活動委員…実行委員長:今野 良、委員:岩成 治

#### 養護教諭向けセミナー「子宮頸がん予防HPVワクチンとは?」

養護教諭の全国大会で、養護教諭の方々に向けて、実行委員長 今野 良が講演を行った。

- 日時:2011年2月25日
- 会場:メルパルクホール
- 活動委員…実行委員長:今野 良



## EUROGIN 2011 & 2011 WACC Forum 参加・取材ツアー

子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、世界のさまざまな啓発へのアイデアなどに触れ、今後の日本での啓発活動に活かすため、昨年に引き続き、世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACC (Women Against Cervical Cancer) のフォーラムに、子宮頸がん啓発団体、メディア関係者、助産師、主婦、大学生ら9名を伴い参加した。当会議の活動も発表した。



- 日時: 2011年5月8日(日)～11日(水)
- 会場: リスボン
- 活動協力・・・実行委員長: 今野 良(企画・事前説明会・現地コーディネート)  
委員: Sharon Hanley、小西 宏

## 「EUROGIN 2011 & 2011 WACC Forum」報告会 ～海外に学ぶ: 新しい検診のスタンダード、ワクチン普及のポイント、啓発の工夫～

5月にリスボンで開催された世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACC (Women Against Cervical Cancer) のフォーラムで、それぞれの目で見えて聞いて感じたこと、ぜひ日本の方々に伝えたいと思ったことをそれぞれの言葉で発表するとともに、子宮頸がん検診とHPVワクチンの最新情報などを伝えるために報告会を開催。議員、自治体担当者、啓発団体、メディアなど約70名が参加した。



- 日時: 2011年6月15日(水) 18:00～20:00
- 会場: 野村コンファレンスプラザ日本橋
- 活動委員・・・議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、監事: 稲葉 憲之、委員: Sharon Hanley

## 養護教諭、健康指導者のための子宮頸がん予防とワクチンの最新知識を学ぶセミナー

ワクチンは初回接種から3回目の接種まで6ヶ月以上の期間が必要なため、すべてを公費助成で受けるなら9月末までに初回接種を終わらせる必要がある。そのタイミングに合わせ、子宮頸がん予防ワクチンやがん検診、予防接種について、保護者や生徒からの質問に正しく自信を持って答えられるように、養護教諭、保健主事の先生、保健師、助産師、看護師など健康指導者を対象に、子宮頸がん予防の最新知識をお伝えするセミナーを開催、約60名が参加した。



- 日時: 2011年9月19日(月・祝) 1:30～4:30
- 会場: 東京ステーションコンファレンス 602AB
- 活動委員・・・実行委員長: 今野 良、委員: 衛藤 隆、堀田美枝子

## 臨床細胞学会での活動発表

第50回日本臨床細胞学会秋期大会の女性のためのセッションにて、アドボカシーを中心とした会の活動を紹介。

- 日時: 2011年10月22日
- 会場: 京王プラザホテル
- 活動委員・・・実行委員長: 今野 良 委員: 中山裕樹、宮城悦子

### 「子宮頸がん予防法案を理解する」緊急議員セミナー

子宮頸がん征圧の実現のためには、精度の高い子宮頸がん検診の検診受診率の向上と、子宮頸がん予防ワクチンの接種率の向上が必須で、「子宮頸がん予防法」の成立が期待されている。そこで、子宮頸がん予防・治療の専門家・実践者を集め、「子宮頸がん予防法案を理解する」緊急議員セミナーを開催した。

■日時：12月20日(火) 午前11時～12時30分

■会場：参議院議員会館 B1 107会議室

■活動・・・議長：野田 起一郎、実行委員長：今野 良、実行委員：鈴木 光明、吉川 裕之、委員：岩成 治、衛藤 隆



### 3. 提言

#### VPD(ワクチンで防げる病気)から子どもたちを守るための予防接種方改訂に関する要望書

ここ数年、日本国内で接種できる新しいワクチンが増えているが、多くのワクチンが任意接種である。そこでワクチンの定期接種化などを求め、当会や「VPDを知って子どもを守ろう」の会(運営委員代表 菌部友喜)をはじめとする9団体が共同で、「VPD(ワクチンで防げる病気)から子どもたちを守るための予防接種方改訂に関する要望書」を厚生労働省・小宮山洋子大臣宛に提出し、記者会見をおこなった。

■日時：2011年11月21日(月)

■会場：厚生労働省



#### 「子宮頸がん予防ワクチンの平成24年度以降公費助成接種に関する要望書」提出

子宮頸がん征圧に向けて活動を行っている団体が共同で、子宮頸がん予防ワクチン接種についての要望書を小宮山洋子厚生労働大臣宛に提出した。

■日時：2011年12月14日(水)午後4:45～

■場所：衆議院議員会館 小宮山議員事務所

■活動・・・実行委員長：今野 良



## 啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供

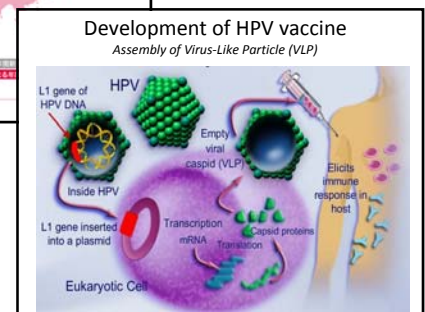
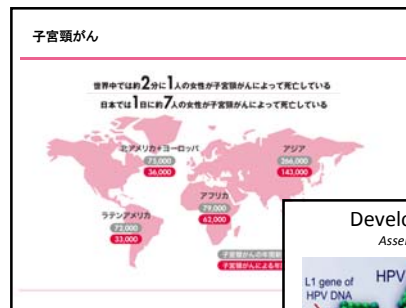
子宮頸がんに関する最新情報の提供をサイトで行い、データをダウンロードし活用できるようにしている。

### 医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供

子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に講演などに使用してもらう。

#### ■ 3月掲載

■ 監修協力・・・実行委員長: 今野 良、委員: 平井康夫



### ウェブサイトでの情報提供

医療者や行政の保健福祉担当者などに向けて実施した子宮頸がんに関するエキスパートによるセミナーの動画配信など、専門家への最新情報の提供を行う。実行委員・委員が講師を務める子宮頸がん予防に関するセミナーなどの開催情報も提供。

2011年は、ライブラリーを充実し、講演や世界の専門家のインタビュー記事も掲載。

WACCへの参加をきっかけとして、世界の子宮頸がん啓発に関する情報なども、今後提供予定。

### セミナーの動画配信

子どもの病気(感染症)

- 生まれたばかりの赤ちゃんはお母さんからの移行抗体(胎帯を通じてお母さんからもらうパワー)で守られています
- 移行抗体は次第に失われていきます
- 細菌に対する移行抗体は2-3か月でなくなります
- 細菌性髄膜炎、百日咳などの発症
- ウイルスに対する移行抗体は、生後5-6か月〜1年くらいでなくなります
- しかし、変異性発疹や気道感染症などの発症
- 子どもが感染を受けて自分で抗体(抵抗力)を作るまでには時間がかかるので、移行抗体消失後にワクチンで守ることが大切

Drivers of HPV vaccine acceptance in adult women and parents of adolescent girls

- Self-relevance of vaccination, i.e. perceived risk of HPV infection and cervical cancer<sup>1-3</sup>
- Knowledge of HPV and cervical cancer amongst women, parents of adolescent girls and healthcare providers (HCPs)<sup>1,3-5</sup>
- Public acceptance of vaccination<sup>6</sup>  
Reduces stigma surrounding HPV vaccination  
Positive media coverage facilitates public acceptance<sup>7-11</sup>
- Recommendation from HCP<sup>1,2</sup>





## 若年女性への啓発・情報提供

団体、若年女性を顧客とする企業などとタイアップし、若い女性に向けて検診とワクチン接種を啓発している。

### 幼稚園での「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」

2010年に引き続き、全国の私立幼稚園などにて、母の日に園児から大好きなお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。

■4月・5月

■カード／イラスト：藤本四郎、配布部数：12万枚



### 新聞に子宮頸がん予防啓発のための全頁広告掲載

子宮頸がんが予防できるがんであることを伝え、ワクチン接種と検診による予防を推奨する新聞全ページ広告を、日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産婦人科医会とともに掲載。

■掲載：8月、9月

■掲載紙：朝日、読売、日経、北海道、中日、西日本、中国、河北新報、静岡、四国

■活動委員・・・議長：野田起一郎、実行委員長：今野 良、実行委員：小西郁生、宇田川康博、委員：寺尾俊彦、宮城悦子

**今、子宮頸がんは自分で予防する時代です。**

20-30代の女性に急増している子宮頸がん。日本の発症数は毎年、約1万3000人にのぼり、約3500人が死亡しています。子宮頸がんは検診とワクチン接種で予防できます。検診はがんだけでなく、癌がん発見を見つかります。国と各自治体が検診とワクチン接種を推奨している今、その予防を自分で意識し、検診とワクチン接種を受けましょう。

中学1年生から高校1年生は、ワクチンの公費助成を受けられます。9月末までに初回接種を!

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 (http://www.cczeropro.jp/)

子宮頸がん検診とワクチン接種の重要性を伝えるための全頁広告掲載の模様。

私たちはHPVワクチンの接種と検診を推奨します。

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 議長 野田起一郎  
 日本産科婦人科学会 理事長 今野 良  
 日本産婦人科医会 理事長 小西郁生  
 日本婦人科腫瘍学会 理事長 宇田川康博  
 委員 寺尾俊彦 宮城悦子

## 子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーン

企業・学校に勤務・在籍する若年女性(主に10代後半～30代)を対象に、企業・学校等とのタイアップのもと、子宮頸がん予防に対する顕在・潜在的なバリアを取り除き、検診・ワクチン接種推進活動を推進する。新たにキャンペーン推進委員会を立ち上げ、当会委員他がプロジェクトを推進していく。

4月サイトオープン、9月には企業を集め、子宮頸がん予防の必要性を伝えるセミナーを開催。35社の企業が参加した。



企業向け説明会

■ サイトオープン4月、企業向け説明会9月

■ 全国

■ 活動委員・・・プロジェクトリーダー／実行委員：鈴木光明、プロジェクトメンバー／実行委員長：今野 良、実行委員：今村定臣、吉川裕之、委員：小田瑞恵、宮城悦子、井伊久美子(社団法人 日本看護協会)、木村千里(社団法人 日本助産師会)

## 横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトタイアップキャンペーン

子宮頸がんは「予防できるがん」。このことを若い女性や周囲の人々に知ってもらい、検診受診やワクチン接種につなげるため、ポスターとメッセージを募集。優秀作品は、「子宮頸がん予防啓発」等のポスター・ちらし・広告・キャッチコピー等として、活用する。

横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトとのタイアップ企画。

■ 募集：2011年11月～2012年1月 3月表彰予定

■ 活動委員・・・宮城悦子、中山裕樹、上坊敏子、小西 宏



## 子宮頸がん予防活動奨励賞の実施

子宮頸がん予防に取り組み、成果をあげた団体・個人を表彰、その成功のポイントを広く公開し、今後の啓発活動に活用してもらうため、『第1回子宮頸がん予防活動奨励賞』を創設。

■ 募集：2011年11月～

■ 活動委員・・・議長：野田起一郎、顧問、監事、実行委員長：今野 良

## シンポジウムなどによる一般市民への情報提供

一般市民の啓発のために、専門情報をわかりやすく解説する公開講座などを他団体と連携して開催。また、さまざまなイベントなどに講師を派遣。

### 「ピンクリボンウォークin すみだ～東京スカイツリーを目指そう～」に参加

乳がん啓発のための「ピンクリボン ウォーク in すみだ」に参加。トークショーや出展をおこなった。

- 日時: 10月15日(土)
- 会場: 錦糸公園(東京都墨田区)
- 活動委員…委員: 宮崎 亮一郎、福田 護

